



# アーチェリー部

■ 1989年(平成元年)公認

部員数

35名



部長  
早田 寧  
社会科学総合学院  
教授



監督  
長 沢 貴 行



男子主将  
丸 尾 風 瑛  
スポーツ科学部  
柏陵

第64代は、女子チームが全日本学生王座決定戦で優勝という金字塔を打ち立て、さらに国際舞台でも活躍する選手を輩出した。男子も全国王座7位入賞、着実に力を伸ばした。各学年で自己新記録が相次ぎ、1～2年生の成長が顕著で、戦力の厚みが増し、次代への確かな礎を築いた。指導体制は、8年間におわり指導いただいた遠藤宏之前監督から長沢貴行新監督へと矢が継がれた。第65代が新たにスタート、女子は優勝経験を糧に後輩世代への継承が鍵となるが、関東学生個人で1年生が優勝、その流れは順調である。早稲田スポーツを代表する活躍部として出版物にも取り上げられる機会が増え、アーチェリー部の注目が一段と高まった一年であった。

渋谷樹里(女子主将)、丸尾風瑛(男子主将)率いる第64代チームは、2024年7月に始動。「誇れ」のスローガンのもとチーム一丸となって日々の活動に邁進し、迎えた2025年シーズンの全日本学生王座決定戦では男子チームが7位、そして女子チームが永年の悲願であったアーチェリー部史初上初の王座獲得を成し遂げた。また、選手個人においても、インカレ・全日本選手権等の高いレベルの大会に多数出場し、早稲田の名を背負って活躍の幅を広げている。これまで先輩たちが築き上げてきた伝統を昇華し「誇り」を体現した第64代チームの魂は、その後継者に引き継がれ、更なる発展に向けてその背中を強く後押ししている。

まずは、4年間支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。  
仲間と共に過ごした早稲田での時間は、かけがえのない思い出です。思うように結果が出ず苦しむ時期もありましたが、そのたびに仲間の支えに励まされ、共に乗り越えることができました。主将として迎えた最終学年では、「誇れ」をスローガンに掲げ、王座制覇を目指しました。男子は3年ぶりの王座出場を果たし、女子は前部初の王座制覇を達成。結果として男子は7位でしたが、仲間を信じ、全員で挑み続けた時間は、何よりの誇りです。  
この4年間に共に歩んできた皆さまに、改めて感謝申し上げます。これからは私も、皆さまと共に次の世代の早稲田を支え、歩んでまいります。



主務  
安 達 由 樹  
人間科学部  
下妻第一

64代の1年間、選手と主務の両立は自分が想像していたより大変でした。OBOGの方々や大学、合宿所の方々とのやりとりなど、初めての仕事ばかりで戸惑うこともありました。監督や先輩方、同期に支えられて、何とか1年間やり切ることができました。アーチェリー部としての4年間は振り返ると、人に恵まれたと感じます。選手として思うような結果は出なかったし、練習以外にもやらなければいけないことや考えなければいけないこともたくさんありました。部活を辞めたいと思ったこともありました。そんな私が4年間部活を続けられたのは、監督、コーチ、先輩、後輩、そして同期のおかげです。これからも出会いと感謝を大切に生活していきたいです。



女子主将  
渋谷 樹 里  
スポーツ科学部  
足立新田

まず初めに、日頃から支えてくださった監督・コーチ・OBOGの方々、そして共に努力を重ねてきた部員のみなさんに心から感謝します。多くの方々の支えがあってこそ、創部初の王座優勝という歴史的な結果を残すことができました。思うようにいかない時期もありましたが、一人ひとりが自分の課題に向き合い、仲間を信じて挑戦し続けたからこそ、最高の形で報われたのだと思います。主将としてチームの成長を間近で見守れたこと、皆と本気で同じ目標を追えたことは、何にも代えがたい経験でした。早稲田大学アーチェリー部で築いた絆と誇りを胸に、これからもそれぞれの道で努力を重ねていきたいです。



## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

### ◇2025年度関東学生アーチェリー男女リーグ戦 第1記録会

(4月13日)

男子4位

▷上位6名総得点 3613点

(丸尾・野田・小淵・山崎・梅澤・野口)

女子4位

▷上位4名総得点 2332点

(渋谷・五関・浅田・高橋)

### ◇2025年度関東学生アーチェリー男女リーグ戦 第2記録会

(4月20日)

男子4位

▷上位6名総得点 3556点

(梅澤・小淵・野田・丸尾・花垣・山崎)

女子5位

▷上位4名総得点 2319点

(渋谷・五関・高橋・浅田)

### ◇第64回全日本アーチェリー男子王座決定戦

(6月14日～15日)

予選ラウンド7位

▷上位3名総得点 1885点

(丸尾・野田・小淵)

決勝ラウンド 7位

丸尾風瑛(スボ科・4年)・野田慶一郎(スボ科・2年)・

小淵伊央利(スボ科・2年)

▷1/8イリミネーションラウンド:慶應大(○6-0)

▷1/4イリミネーションラウンド:同志社大(●2-6)

### ◇第60回全日本アーチェリー女子王座決定戦

(6月14日～15日)

予選ラウンド4位

▷上位3名総得点 1852点

(渋谷・五関・高橋)

決勝ラウンド1位(優勝)

渋谷樹里(スボ科・4年)・高橋梨杏(スボ科・3年)・

五関咲子(スボ科・1年)

▷1/8イリミネーションラウンド:東北大(○6-0)

▷1/4イリミネーションラウンド:同志社大(○5-4)

▷セミファイナル:立教大(○6-2)

▷ゴールドメダルマッチ:日本体育大(○6-2)

### ◇2025年度関東学生アーチェリー個人選手権大会本戦

(8月23日～24日)

予選

▷男子:安達(147位)丸尾(22位)梅澤(35位)野口(92位)

森田(80位)山崎(42位)野田(9位)樋口(102位)花垣(86位)

▷女子:渋谷(11位)西村(131位)高橋(23位)浅田(50位)

鈴木(76位)五関(7位)

決勝トーナメント

▷男子:丸尾風瑛(スボ科・4年) 5位

野田慶一郎(スボ科・2年) 9位

▷女子:五関咲子(スボ科・1年)優勝

渋谷樹里(スボ科・4年) 9位

高橋梨杏(スボ科・3年) 9位

### ◇第37回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会

(8月29日～31日)

予選

▷男子:丸尾(24位)梅澤(19位)山崎(20位)

▷女子:浅田(22位)

### ◇第63回全日本学生アーチェリー個人選手権大会

(9月19日～21日)

予選

▷男子:丸尾(68位)山崎(78位)野田(84位)

▷女子:渋谷(11位)高橋(21位)浅田(100位)五関(19位)

決勝トーナメント

▷女子:渋谷樹里(スボ科・4年) 17位

高橋梨杏(スボ科・3年) 17位

五関咲子(スボ科・1年) 5位

### ◇第79回国民スポーツ大会

(10月5日～7日)

個人

▷予選:五関(12位)

団体

▷予選:五関(東京都・5位)

▷決勝トーナメント:五関咲子(スボ科・1年)東京都・5位

### ◇2025年度関東学生アーチェリー新人個人選手権大会

(10月18日～19日)

経験者70m部門

▷男子:花垣(15位)諸鹿(19位)佐藤(36位)高橋(54位)

▷女子:五関咲子(スボ科・1年) 4位

未経験者SH部門

▷男子:吉田(21位)

▷女子:平野姪奈(スボ科・1年) 1位

林千代(国際教養・1年) 2位

未経験者30m部門

▷男子:高橋(45位)村田(60位)

### ◇第67回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会

(10月25日～26日)

予選

▷男子:野田(40位)

▷女子:五関(10位)渋谷(25位)

決勝トーナメント

▷渋谷樹里(スボ科・4年) 17位

▷五関咲子(スボ科・1年) 9位

### ◇2026年ナショナルチーム U21 ナショナルチーム選考会

(11月8日～9日)

五関咲子(スボ科・1年) 14位

▷選考結果:ナショナルチーム選考通過

### ◇2025年度早慶定期戦

(11月23日)

男子

▷早稲田●3609—3610○慶応義塾

(梅澤・森田・山崎・野田・樋口・佐藤・花垣・諸鹿)

▷団体1軍戦:早稲田○6-2●慶応義塾

(山崎・野田・花垣)

▷団体2軍戦:早稲田●0-6○慶応義塾

(梅澤・森田・諸鹿)

女子

▷早稲田●2413—2424○慶応義塾

(渋谷・高橋梨杏・浅田・鈴木・石神・五関・平野)

▷団体1軍戦:早稲田○6-2●慶応義塾

(高橋梨杏・浅田・五関)

